

## 内科・外科看護実習(その二)案

## 目的:

内科・外科疾患患者の看護の習得

1. 理論と実際の両方
2. 患者を一人の人間としての理解を深める。(精神的、感情的、社会的、経済的等各方面から)
3. 臨床看護に対する理解を深める。
4. 他の保健及び社会施設、医療制度に対する興味を啓発する。
5. 病室のよい環境に対する理解をもつ。
6. 材料、時間、エネルギーの節約に対し認識する。
7. 綿密な観察及びその記録の重要性に対し認識する。

## 方法:

1. 学生各自患者を担当し、その患者に対する一日の看護計画を立て、責任をもってこれを遂行する。  
病棟婦長、受持医師、看護婦と密接に連絡をとりその指導を受ける。

(註) 午前八時世分実習場に出席し責任者より患者の引継ぎを行う。実習終了後一日の計画を報告する。

2. 病室相談会 (Ward Conference) 及び看護症例研究を發表する研究会を設ける。

3. 其の他の施設の見学も行う。